

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	消防施設整備事業				開始年度		
基本目標	消防体制の充実強化				終了年度		
担当課(局)	総務課	担当係	生活安全係	記入者	日高茂利	評価者	間 省二
21年度決算	253,140	千円	22年度予算	261,047	千円	事業の実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	2,186 千円		22年度人件費	2,169 千円		事業従事者数	0.30 人 0.30 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	災害時に備え、消防施設・設備等を整備するとともに、消防水利を整備し初期消火用設備を確保する。
事業の内容	消防団の消防車両等の導入・更新、消防機庫の建設、消防水利の維持管理、防災行政無線整備等

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 消防車両配備数	緊急時の迅速な対応、機動力向上
	2 消防機庫設置数	拠点施設整備による消防団各部の活動充実
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 消防車両点検整備数	消防車両の点検、維持管理を実施し、緊急時の出動に備える
	2 施設、機械・器具修理	消防機庫、機械器具等を適正管理し、消防団の活動体制を整備する
	3 消火栓維持管理数	消火栓等の維持管理により消防水利の整備を行う

◎達成状況

		指標名	単位	20年度	21年度	22年度
成果指標	消防車両配備数	目標値	台	15	15	15
		実績値		15	15	
		達成率		100.0%	100.0%	
	消防機庫設置数	目標値	箇所	14	14	14
		実績値		14	14	
		達成率		100.0%	100.0%	
		0				
活動指標	消防車両点検整備数	目標値	件	10	5	10
		実績値		21	16	
		達成率		210.0%	320.0%	
	施設、機械・器具修理件数	目標値	件	5	5	5
		実績値		11	9	
		達成率		220.0%	180.0%	
	消火栓維持管理数	目標値	箇所	457	464	464
		実績値		457	464	
		達成率		100.0%	100.0%	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	消防組織法に基づき、市町村は、当該市町村の区域における消防を十分に果たすべき責任を有する。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	消防施設・設備、消防車両及び資器材の整備することにより、早急に災害に対応できる状態が保たれる。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	消防車両、機材の維持管理や消防機庫等の施設整備に係る事業費は高額となるが、計画的な整備を行うことにより効率的な消防組織の機能強化を図ることができる。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	施設整備には地元の協力も得ており、点検・維持管理等は消防団員が実施している。

事務事業名	消防施設整備事業	担当課(局)	総務課
-------	----------	--------	-----

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	災害はいつ来るか分からない。年次的に未整備の消防機庫や消防車両等の整備が必要条件である。これも事務事業評価にはそぐわないと判断する。	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充				
			現状維持			○		
			縮小					
			廃止					
			廃止	縮小	現状維持	拡充		
			コスト					

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎施設整備の年次計画等について、その進捗率を指標にすれば判りやすいのではないか。消防組合負担金は含めない方がよい。 ◎防災行政無線の更新計画は防災事業に掲載すること。消防施設の整備は、防災力の維持向上のためにも必要である。
	コスト	現状維持	◎消防施設・設備の更新計画に基づき整備を進めてほしい。更新基準、計画等の樹立が必要である。